

2階実験室ゴミ分別早見表

とっとりバイオフロンティア 2025. 10.09

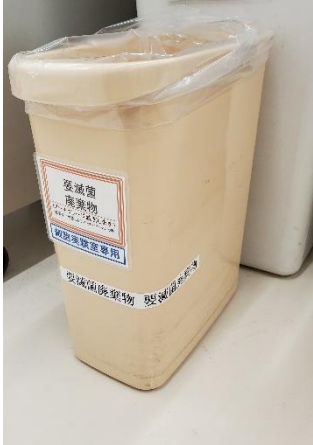
当施設内より出されるゴミ(廃棄物)は、以下のように分類・分別をして所定の場所へ出してください。ウイルスや細菌の不活化については、[「とっとりバイオフロンティア微生物実験安全マニュアル」](#)[「とっとりバイオフロンティアウイルスベクター取扱い安全マニュアル」](#)をご参照ください。ご不明な点は管理室にお問い合わせください。

廃棄場所	ゴミの内容
可燃ごみ	燃やせるごみ (※培養細胞、大腸菌、微生物、ウイルスベクター、その他遺伝子組換え生物が付着していないもの) ⚠ シリンジ、注射針等(医療系に分類されるもの)の空袋は捨てられません。→「感染性廃棄物(段ボール)」に入れてください。
不燃ごみ	・実験室から出た不燃ごみ。(※培養細胞、大腸菌、微生物、ウイルスベクター、その他遺伝子組換え生物が付着していないもの) ・オートクレーブ済のピペット・ディッシュ等プラ製品。
要滅菌廃棄物 (オートクレーブ滅菌します) 細胞実験室専用 要滅菌廃棄物 (オートクレーブ滅菌します) 細胞実験室専用 	培養細胞・大腸菌(遺伝子組換え生物である場合を除く)が付着したピペット・チューブ等プラ製品。 (液体はできるだけ除いてください。) (→TBFスタッフが定期的に回収し、滅菌処理 →「不燃ごみ」で廃棄します)
実験者自身が不活化処理	【プラ製品】大腸菌以外の微生物、ウイルスベクター、その他遺伝子組換え生物が付着したチップ・ディッシュ等プラ製品 →液体を除去して、実験者自身が不活化処理。 その後、適切に分別廃棄。 【廃液】微生物(大腸菌含む)、ウイルスベクター、その他遺伝子組換え生物微生物等を含む廃液 →実験者自身が不活化処理。 ※ハロゲンを含むものは、不活化処理後に、「ハロゲン廃液」タンクに回収。
感染性廃棄物 (段ボール) 【血液等の付着しているもので、注射針やガラスなど先が鋭利なものを除く】 注射針等は絶対に入れないで下さい！ 	・血液等が付着しているもの (注射針やガラスなど先が鋭利なものを除く) ・シリンジ、注射針等(医療系に分類されるようなもの)の空袋。

感染性廃棄物 【血液等の付着しているもので、 注射針やガラスなど先が鋭利なもの】	・血液等の付着しているもので、注射針やガラスなど先が鋭利なもの。 ・割れたガラス。
セルアナライザ 廃棄物専用 (オートクレーブ滅菌します)	セルアナライザ分析に使用したチューブ、プレート等。
ガラス瓶 ※試薬等はできるだけ洗浄してから入れてください。 割れたガラス等は、ケガ防止のため 「感染性廃棄物(ペール缶)」へ入れてください。	空の試薬瓶等 ※ガロン瓶等大きなガラス瓶を廃棄される場合は推進室にお問い合わせください。(ラベルはできるだけ剥がして下さい。瓶は洗浄し、廃液は廃液タンク等に分別して廃棄下さい。) ※割れたガラス等は「感染性廃棄物(ペール缶)」へ入れて下さい。
実験者自身が処理	【廃液】泳動などに使用したエチジウムブロマイド廃液 →活性炭処理等を行い、無害化後、実験系排水に放流。
ハロゲン系 廃液	【廃液】ハロゲン・フェノール含有廃液 (廃液タンク:機器分析室)
有機廃液 (可燃性)	【廃液】有機廃液(可燃性廃液) (廃液タンク:機器分析室)
有機廃液 (難燃性)	【廃液】有機廃液(難燃性廃液) (廃液タンク:機器分析室)

～ご協力お願いいたします～

【よくある質問】

ご質問	回答
Q. ごみ箱(要滅菌廃棄物用)がいっぱいです。どうしたらいいでしょうか。 	A. 基本的には推進室スタッフが廃棄物の回収をさせていただきますが、短期間に廃棄物が多く発生する場合は、予備のゴミ袋(オートクレープ用廃棄バッグ)を、実験室内の作業用台車に設置しておりますので、以下のようにお願いします。 1. ゴミ箱からバッグごと廃棄物を取り出し、ワイヤータイ(バッグと一緒に設置しています。)で留めてください。 2. 留めたゴミ袋は、実験室のゴミ箱付近に固めて置いておいてください。 3. 新しいオートクレープ用廃棄バッグをゴミ箱に取り付けてください。 なお、ピペット(高さのあるもの)とそれ以外のゴミに分けていただけると、オートクレープ処理をする際に効率がよく、大変助かります。
Q. 一度に大量に作業をするのでゴミ箱(要滅菌廃棄物用)が小さいです。もっと大きいものにできませんか。	A. 回収後に処理をするオートクレープの容量に合わせたサイズのバッグを設置させていただいておりますのでご了承ください。
Q.死菌を含むサンプルについてはどういう扱いになりますか？	A.十分な不活化等が行われ、生菌が含まれないことが明らかなサンプルであれば、細胞実験室や機器分析室でもご使用いただけます。判断が難しい場合は管理室にご相談ください。

(安全キャビネット・クリーンベンチ付属の)アスピレーター廃液の処理について

Q. 廃液がいっぱいになりそうです。どうしたらいいでしょうか。 	A. 実験室内に廃液回収用タンクを設置しております。 1. チューブ内を消毒用エタノールで洗浄する。 (ポンプを動かしながら消毒用アルコールのスプレーボトルをチューブ内に噴霧し、洗浄) 2. フタを外し、廃液瓶の中の廃液を回収用タンクに移します。 3. 水道水で 1～2回瓶の中を洗浄し、廃液を回収用タンクに移します。※廃液が垂れないように、瓶の口をペーパー等で拭いてください。 4. フタを元に戻して、使用してください。 ※少量の液体を続けてアスピレートする場合、泡が発生しやすくなり、フィルターの詰まりの原因となる場合がありますのでご注意ください。
--	---